

○ 近畿産大豆の単収

大豆の単収は、播種時期や収穫時期の降雨による作業の遅れや天候の影響を受け易く、年次変動が大きい。

近畿産大豆の単収は、110kg～140kg/10aと全国と比べ低位（全国比69%（10か年平均））で推移しているが、令和7年産の単収は高温・少雨や虫害の影響により108kg/10aとなった。

近畿は、全国と比較して単収が低い傾向にあることから、食料・農業・農村基本計画で掲げるKPI（令和12年：生産量39万トン）の達成には、単収向上に向けた取組が大きな課題となっている。

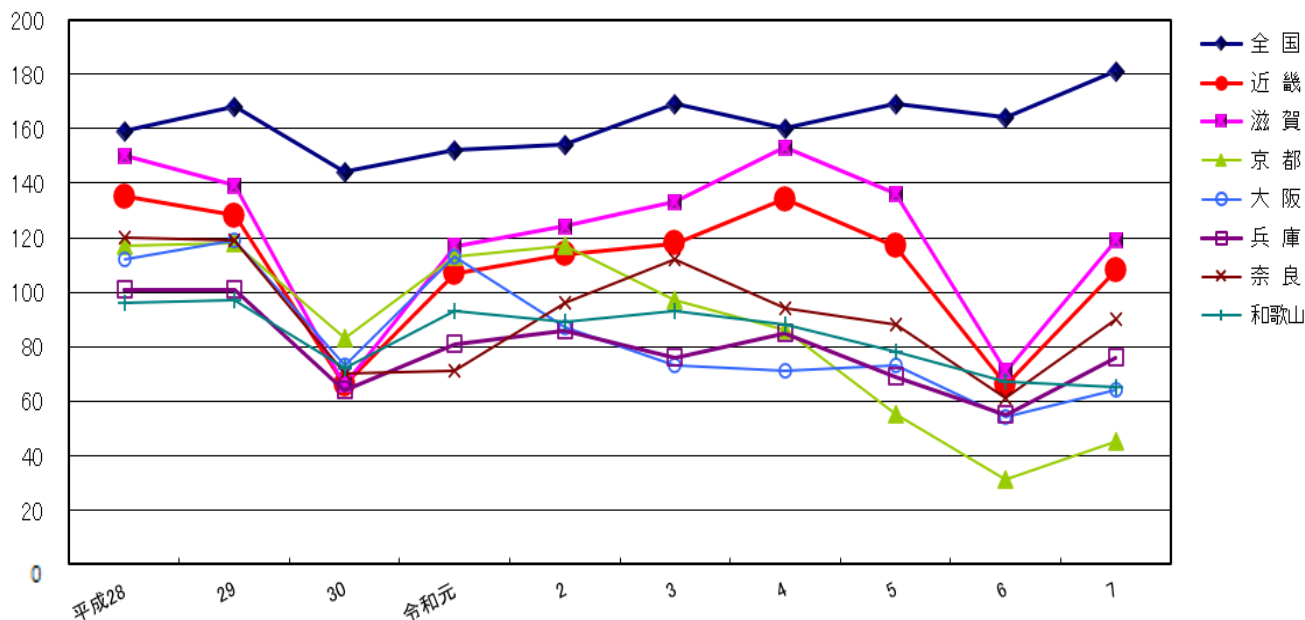
近畿産大豆の単収の推移

（単位：kg/10a）

年産 府県	平成28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	10年平均
全国	159	168	144	152	154	169	160	169	164	181	162
近畿	135	128	66	107	114	118	134	117	66	108	109
全国対比	85%	76%	46%	70%	74%	70%	84%	69%	40%	60%	67%
滋賀	150	139	66	117	124	133	153	136	71	119	121
京都	117	118	83	113	117	97	86	55	31	45	86
大阪	112	119	73	113	87	73	71	73	54	64	85
兵庫	101	101	64	81	86	76	85	69	55	76	80
奈良	120	119	70	71	96	112	94	88	61	90	93
和歌山	96	97	72	93	89	93	88	78	67	65	85

資料：農林水産省「作物統計」

単収(kg/10a)



資料：農林水産省「作物統計」